

大会宣言

私たちは、今日ここに初めて 10 万人を超えた仲間とともに第 20 回定期大会を開き、成功させました。

いま私たちは重大な転機に直面しています。

東日本大震災は、国民本位の政治への転換を厳しく求めています。

原発事故は、脱原発、エネルギー政策の転換を求めています。

また、こうした国難ともいべき事態をよそに、社会保障を救済政策に変質させる大改悪・大転換がもくろまれています。

菅首相に代表される自公民の政治は、未曾有の事態を解決する能力を欠いているばかりか、事態をますます悪化させています。国政の抜本的な転換を求めます。莫大な内部留保を持ちながら、災害復旧を口実に消費税増税を求め、経済特区などでさらなる利潤追求を強める財界にも猛省を促します。

大会は、こうした状況を全体で確認し、転機を乗り越え、あるいは発展させる方針を決定しました。高齢者が手を取り合い、住みやすいまちをつくる決意を固めました。大会は、東日本大震災、原発事故、年金・社会保障の大改悪に立ち向かう特別決議を採択しました。

仲間づくり運動も 10 万人組合から 20 万人へ、質量ともに強固な組合への転換・発展の時を迎えています。大会は、そのために各県・支部に求められている役割とまちづくり政策を明確にし、それを担いうる組織づくり方針を組み合わせた総合的な計画づくりに着手することを決めました。

私たちは、今日の決定を一日も早く全組合員のものとし、悪政に立ち向かうとともに、仲間の絆を確かめ、強め、ひろげながら、豊かな高齢期のために活動をいっそう強めていきます。

以上宣言します。

2011 年 6 月 17 日

全日本年金者組合 第20回定期大会